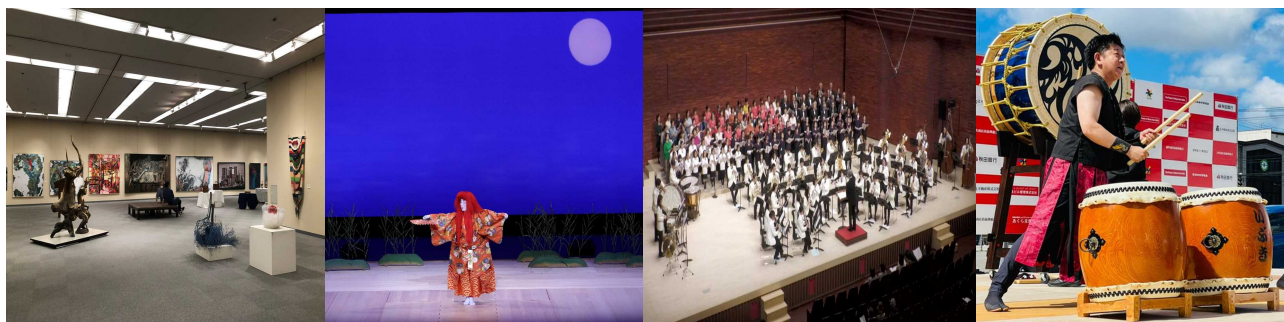


文化芸術活動を 助成します。



令和5年度文化による地域の元気創出事業

秋田県では地域の文化資源を活用した交流人口の拡大や地域の特色ある取組を支援するため、民間団体が行う文化芸術活動等に対して、文化による地域の元気創出事業費補助金（以下「補助金」）により助成します。

※文化事業の実施については、国、秋田県または利用する施設等が定めている新型コロナウイルス感染症対策などに従い、必要な対策を行ってください。

○令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業が対象です。

対象団体、事業についてはP2～4へ

○通常枠の補助申込額は10～40万円です。

○交流人口拡大枠の補助申込額は100～300万円です。

○活動応援枠が新設されました。補助申込額は～20万円です。

補助対象経費、補助金額についてはP3～6へ

○申込締切は令和5年4月10日（月）17:00【**必着**】です。

申込みから交付までの流れ、申込書の提出についてはP7～8へ
申込書はP19～25にあります。



I 補助金交付の対象団体と事業

(1) 補助金交付の対象となる事業の実施期間

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(2) 補助金交付の対象となる団体

本県の文化振興や交流人口の拡大に資する団体で、次の要件を満たす民間団体です。

- ① 県内に活動の本拠を有し、本県に係る文化事業を行う文化芸術団体で団体構成員が主として県内在住者であること
- ② 事業を完遂できる見込みがあること
- ③ 一定の規約を有し、団体としての意思決定の手続きが明確であり、確実な実行が見込まれる組織体制があること
- ④ 代表者及び所在地が明らかであること
- ⑤ 自ら会計経理を明瞭に行うこと
- ⑥ 補助金を受けようとする年度の4月1日現在で、満1年以上継続した活動実績又は、それに準ずる活動実績を有すること。ただし、その事業を実施するために組織された実行委員会等は除く。
- ⑦ 活動応援枠については、本補助金の通常枠において3回交付を受けた団体もしくは交流人口拡大枠の4回目以降の交付を受けようとする団体、又は上記①～⑥に該当する補助金未交付団体であること

(3) 補助金交付の対象とならない団体

- ① 専ら営利を目的として活動している団体
- ② 特定の政治活動又は宗教活動を目的として活動している団体
- ③ 事業に必要な経費のうち、本補助金を除く自己負担金等の金額を確実に調達できる見込みがない団体
- ④ 文化芸術以外を主たる活動内容とする団体（国際交流、教育、福祉、環境保護、まちづくり等）
- ⑤ 学校、企業、事業所内の文化活動団体（文化サークル等）
- ⑥ 暴力団又は暴力団員が役員となっている団体、暴力団又は暴力団員と密接な関係を有する団体
- ⑦ 市町村及び市町村の関係団体等、市町村が出資して設立した団体（実行委員会の構成員等は除く。）
- ⑧ 県から当該事業に対する他の補助を受けているとき（交流人口拡大枠において、4回目以降交付時の活動応援枠の併用は除く。）
- ⑨ 通常枠の申請において、平成20年度以降に3回、本補助金（平成29年度以前における「秋田県芸術文化振興基金補助金」を含み、平成30年度以降については「通常枠」に係る補助金に限ります。）の交付を受けている団体（団体名称が異なる場合であっても、役員構成等から実質的に同一と判断できる団体）
- ⑩ 交流人口拡大枠の申請において、過去に5回、本補助金（「交流人口拡大枠」に係る補助金（平成29年度以前における同枠に相当する補助金を含む。）に限ります。）の交付を受けている団体（団体名称が異なる場合であっても、役員構成等から実質的に同一と判断できる団体）

(4) 補助金交付の対象となる事業

対象となる団体が自ら企画・主催するおおよそ次のような事業です。

【通常枠】

- ① 会員等特定の者のみを対象とせず、広く県民に公開される音楽、演劇、舞踊、文芸、美術等に係る公演や展示を行う事業（シンポジウムや講演会などの事業及び、毎年同年度の内容で開催する定例的な活動を除く）
- ② 子どもや若者など若い世代を対象とする事業や、ワークショップなどの文化芸術体験型あるいは後継者育成型の事業
- ③ 国内外の文化祭等への参加又は文化交流のための事業
- ④ 国指定、国選択、県指定又は市町村指定無形民俗文化財で後継者を育成するために行う研修や記録作成などの事業

【交流人口拡大枠】

- ① 東北規模又は、全国規模の文化事業で交流人口の拡大に資する事業
- ② 地域の文化芸術資源を活用し、多様な文化芸術の発展や地域経済の活性化に資する事業

【活動応援枠】

- ① 事業資金を調達するための事業
(クラウドファンディングの利用手数料、インターネットによる入場券販売手数料等)
- ② 会員や事業の来場者増加のための広報事業
(ウェブサイト・SNSの構築や更新等)
- ③ 専門人材を活用した団体の体制強化事業
(技術指導、会計・運営改善の指導等)
- ④ その他団体が活動を継続するために特に必要と認める事業

(5) 補助金交付の対象とならない事業

- ① 学校教育関連の活動
- ② 特定の企業名を付した冠公演や企業宣伝活動
- ③ 文化事業を専業とする営利団体の事業
- ④ 寄付を目的として行われる慈善事業
- ⑤ 教室等が行ういわゆる稽古事や習い事等の発表会
- ⑥ 文化芸術の振興・普及以外に主眼が置かれている事業
- ⑦ 入場料が事業の内容や規模に比して著しく高額な事業

(6) 明らかな理由がなく会計・事務処理が大幅に遅れ交付事務処理に支障を来した団体や、その他の事情により補助金交付団体として適正ではないと認められる団体は、翌年度以降の申込を受け付けないことがあります。

II 補助金について

項 目	【通常枠】	【交流人口拡大枠】	【活動応援枠】
補助率	補助対象経費から入場料等収入を控除した額の 2分の1	補助対象経費から入場料等収入を控除した額の 3分の2	補助対象経費の 3分の2
上限	40万円	300万円 ※本補助金（「交流人口拡大枠」に係る補助金（平成29年度以前における同枠に相当する補助金を含む。）に限る。）の交付を3回以上受けた団体は、前回交付額の8割の額を限度額とします。ただし、活動応援枠を併用し事業を開催した場合は 9割 の額を限度額とします。	20万円
補助金の採択申込額（計画額）	10万円以上	100万円以上	—
補助金の交付回数	3回	5回	2回

III 補助金交付の対象経費

〈事業採択申込書の作成に当たっての留意点〉

- ① 入場料等収入については、補助対象となる事業に対する入場料、パンフレット売上収入、参加料、市町村等からの補助金等を記入してください。
上記以外の収入（広告料収入、企業からの協賛金、寄付金、定例的な会費、団体の運営に対する市町村等からの補助金等）は自己資金に含めてください。

- ② 審査委員会の審査の結果、補助金交付決定額が申込額どおりになるとは限らず、また、事業の内容等によっては不採択の場合もあります。
- ③ 申請時と実績時の内容に大きな変動がある場合は、補助金の交付を取り消すこともあるほか、補助対象経費及び入場料等収入の実績金額に基づいて補助金額を再計算するため、当初交付決定額より最終の交付金額が減額になることがありますので、無理のない事業規模、自己財源の確保等に留意してください。
- ④ ライブ配信等を行う場合、配信に係る経費を補助対象とします。ただし、配信した映像を動画記録として残すための映像編集費、記録媒体購入費（DVD、USB等）及び映像制作費等については補助対象外とします。
- ⑤ 感染防止対策に係る経費（消毒液、マスク等の消耗品）は補助対象経費とします。

IV 審査のポイント

審査にあたっては、次のとおりとし、特に、波及性、独創性のほか、新規の取組を重視します。

1. 審査基準

審査は各審査委員が審査項目ごとに評価点数を付し、審査委員会による協議を行い、採択事業を決定するものとする。

また、審査委員会において協議した配点の割合により補助金額を決定し、配点が一定の割合に満たない場合は不採択とする。

2. 審査項目

ア. 事業内容に関する評価

- ①波及性：（通常枠）広く県民に公開され、県民の興味・関心が望める内容か。
（交流人口拡大枠）広域から集客が見込める内容か。または、地域資源を活用した文化芸術の取組か。
- ②独創性：事業内容や実施方法に創意工夫が見られるなど、特色ある取組か。
- ③将来性：発表者や参加者に若い世代が関わり、文化芸術活動の持続的発展、後継者の育成につながる内容か。今後の活動への期待が見込まれるか。
- ④実現性：事業計画、収支計画は無理や無駄のない内容か。

イ. 事業実施主体に関する評価

- ・別に定める補助対象団体の要件を満たしているか。
- ・事業を適切に遂行するためのノウハウ及び実績を有しているか。
- ・自己財源を安定的に確保しているか。
- ・事業内容が画一的でなく、新規性のある事業に取り組んでいるか。

上記に留意し、次の「補助金交付の対象となる経費（補助対象経費）」を申請してください。

通常枠・交流人口拡大枠

〈補助対象経費〉は、次のとおりです。

項 目	内 容	内 訳
人にかかわる経費	演出・文芸費	演出料、監修料、振付料、舞台監督料、デザイン料、各種助手料、台本料、著作権使用料、マネージメント料、訳詞料等
	謝 礼	講師謝金、編集謝金、原稿執筆謝金、会場整理員賃金、指揮料、演奏料、出演料等
	旅 費	交通費（実費相当額（自家用車利用の場合は、1kmにつき37円で計算した額）、高速道路利用料、宿泊費（1泊につき11,800円を限度とし、食事代を除く。）駐車料金（当日・直前のリハーサル1回分）
開催にかかわる経費	設 営 費	会場設営・撤去費、展示工作費、美術作品・楽器・道具運搬費、作品保険料、看板制作費、ピアノ調律費等
	舞 台 費	大・小道具費、衣装費（レンタルのみ対象）、効果（照明・音響）費等
	委 託 費	設営や舞台等にかかわる経費で外部に委託する費用
	印 刷 費	プログラム、ポスター・チラシ、入場チケット
	会 場 費	会場使用料（付帯設備費を含む。）等
そ の 他	役 務 費	広告宣伝費、入場券販売手数料、傷害保険料、送料（事業周知に係るポスター等の送料も含む）等
そ の 他		その他事業実施のために必要と認められる経費（消耗品・感染防止対策等）

美術・文芸・伝統芸能に関する分野	図録・記念誌等、史料価値があり、図書館などの公共施設等へ配付する印刷物の印刷費、郵送費を対象とします。
リハーサル	公演日前3カ月以内のリハーサル（1回のみ）にかかわる経費（会場費・指導料・旅費等）も対象となります。

〈補助対象外経費〉は次のようなものです。

項 目	内 容	内 訳
賞金・謝礼	コンクール審査員の謝金、講師謝金以外の花束・菓子代、コンテスト等の賞金及び副賞、お土産代等	
旅 費	コンクール審査員の交通費・宿泊費、航空・列車運賃の特別料金（ファーストクラス料金、グリーン料金）、タクシー料金等	
手 数 料	各種手数料（振込手数料、代引き手数料、外貨両替手数料、海外送金手数料等）	
食 糧 費	飲食代、レセプション・パーティー開催にかかわる経費等	
練 習 費	練習に伴う経費（会場費、指導料、旅費等）ただし、補助対象経費となったリハーサルにかかわる経費を除く。	
備 品 費	楽器購入費、美術作品購入費等	
印 刷 費	記念写真、主に団体の活動等を紹介する内容のパンフレット等	
団体の運営にかかる経費	<ul style="list-style-type: none"> ○団体構成員の給与（社会保険料、通勤手当・期末手当等を含む） ○団体構成員の謝礼、旅費・宿泊費（補助事業に係るものは除く） ○団体事務所の維持費（生活雑費、医薬品、光熱水費、通信運搬費等を含む） ○団体事務所の事務機器・事務用品の購入・借用費（文具、衣装、楽器・美術作品などの消耗品を含む） 	

活動応援枠

〈補助対象経費〉は、次のとおりです。

項目	内 訳
謝 礼	講師謝金、原稿執筆謝金等
旅 費	交通費（実費相当額（自家用車利用の場合は、1kmにつき37円で計算した額）、高速道路利用料、宿泊費（1泊につき11,800円を限度とし、食事代を除く。）、駐車料金等
会 場 費	会場使用料（付帯設備費を含む。）等
委 託 費	ウェブサイト構築等にかかわる経費で外部に委託する費用
印 刷 費	取組との関連性が認められるもの（クラウドファンディング宣伝チラシ等）
役 務 費	入場券販売手数料、クラウドファンディング利用手数料、通信費、運搬費、デザイン料、広告宣伝費等
そ の 他	その他必要と認められる経費

〈補助対象外経費〉は次のようなものです。

項目	内 訳
謝 礼	講師謝金以外の花束・菓子代、お土産代等
旅 費	航空・列車運賃の特別料金（ファーストクラス料金、グリーン料金）、タクシー料金等
食 糧 費	飲食代、レセプション・パーティー開催にかかわる経費等
練 習 費	定例的な練習に伴う経費（会場費、指導料、旅費等）
備 品 費	楽器購入費、美術作品購入費等
団体の運営にかかわる経費	<ul style="list-style-type: none"> ○団体構成員の給与（社会保険料、通勤手当・期末手当等を含む） ○団体構成員の謝礼、旅費・宿泊費（補助事業に係るものは除く） ○団体事務所の維持費（生活雑費、医薬品、光熱水費、通信運搬費等を含む） ○団体事務所の事務機器・事務用品の購入・借用費（文具、衣装、楽器・美術作品などの消耗品を含む）

IV 事業採択申込書の提出

1 申込から交付までの流れ

※ が、申込者の行う手続きです。

3月9日(木)～4月10日(月)17:00 必着
○ 募集申込書の配布開始
○ 募集開始 申込受付開始は3月9日(木)です。

必着
締め切り(厳守)

事業採択申込書等の提出

〈提出書類〉

- ・採択申込書
- ・事業実施計画書
- ・収支予算書
- ・団体の概要(会員名簿・団体の規約等添付)
- ・補助金実績調書
- ・採択申込チェックシート

4月下旬(予定)

- 審査委員会の開催
- 補助金の内示
採否にかかわらず通知します。
審査の進行によって通知が遅れることもあります。

補助金交付申請書等の提出

5月下旬(予定)

- 補助金交付決定通知

事業実施

※事業に変更が生じた場合

変更承認申請

→ 交付決定変更通知

- ・補助対象経費の20%以上の増減など
- ・事業実施日や事業期間、事業内容の変更など

事業完了の日から
1カ月以内または
3月31日のいずれ
か早い日までに
提出

補助事業の実績報告書の提出

※提出書類に不備があった場合、申請団体に問い合わせの上、書類を整えていただくこととなります。そのため補助金交付まで時間がかかることがあります。

〈提出書類〉

- ・補助事業実績報告書
- ・事業実績書
- ・収支精算書
- ・実施記録資料(写真、印刷物等)
- ・収入及び支出を証明する書類等(補助金出納表(様式指定)及び補助対象経費にかかる領収書のコピー等)
- ・事業実施時に会員に変更があった場合は、変更後の会員名簿

※補助金交付決定通知の際に実績報告書等の様式等について具体的に連絡します。

請求書提出

※実績報告書に係る会計関係書類等の書類一式については、5年間保存すること。

- 事業の検査確認・補助金額の確定
- 補助金交付(団体名義の指定口座へ振り込み)

2 申込書の提出に当たっての留意事項

- (1) 事業採択申込書等は、補助金交付対象事業等の採否審査に係る基本資料となりますので、十分検討のうえ提出してください。また、関係資料（前年度実績の資料等）があれば添付してください。
- (2) 実施計画書及び収支予算書については、実際に行う事業と内容、経費等に大きな違いが生じないように、十分精査して作成してください。
- (3) 審査委員会の審査の結果、補助金交付決定額が申込額どおりになるとは限らず、また、事業の内容等によっては不採択の場合もあります。無理のない事業規模、自己財源の確保等に留意してください。

- (4) 交付決定した事業については、事業実施会場及び事業実施に際して作成される成果物（チラシ、パンフレット等）には、以下のとおり表示してください。（決定後に詳細をお知らせします。）

[表示例]

助 成： 秋田県芸術文化振興基金助成事業



3 申込書の提出手続きについて

- (1) 提出書類の作成方法

ア 提出用紙は、この募集案内に綴じ込みの用紙をコピーして使用するか、県のホームページ「美の国あきたネット」から申込書等の様式をダウンロードして使用してください。

「美の国あきたネット」トップページ「組織別一覧」→「観光文化スポーツ部」→「文化振興課」→「お知らせ・イベント」のページからダウンロードできます。

イ 提出した書類については、記載内容に関して問い合わせをすることがありますので、必ず写しをとり、保管するようにしてください。

- (2) 申込に係る提出物等

◎提出物 採択申込書、事業実施計画書、収支予算書、団体の概要、補助金実績調書、採択申込
チェックシート

◎提出部数 各1部

◎受付期間 令和5年3月9日（木）から

令和5年4月10日（月）17:00まで **【必着】**

（郵送、Eメール等による送付が持参で提出願います。土日・祝日は休みです。）

※Eメールで提出の場合は、送信後、必ずお電話でご連絡ください。

◎提出先

〒010-8572（県庁専用郵便番号：住所の記載は不要です。）

秋田県観光文化スポーツ部 文化振興課 調整・文化振興班

◎問い合わせ先 電 話：018-860-1530

メール：bunkashinkouka@pref.akita.lg.jp

- (3) 補助金の内示及び補助金交付決定通知後の事務手続等については、それぞれの通知と併せて連絡します。

記入例①-1

文化による地域の元気創出事業採択申込書

令和5年3月9日

↑
※令和5年3月9日から4月10日までの
提出する日付を記入してください。

(あて先) 秋 田 県 知 事

※法人にあつては事務所の所在地

住 所 〒010-0951

秋田市山王 4-1-2(〇〇方)

※事務局等が個人宅の場合、方書を付けてください。

団 体 名 現代舞踊公演実行委員会

代表者職・氏名 会長 文化 秋子

令和5年度において、次のとおり補助事業を採択されるよう申し込みします。

- 1 補助金の名称 文化による地域の元気創出事業費補助金
- 2 補助事業の種類 通常枠 ・ 交流人口拡大枠 ・ 活動応援枠 (いずれかを選択)
- 3 補助金の申込額 1,341,000 円 (注：この数字は記入例の額です。
※千円未満は切り捨てとなります。)
- 4 補助事業の実施期間 令和5年6月1日から令和5年11月30日まで

※ 公演、展示等を準備する日から実績報告書を提出する日までです。

※ 令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業が対象です。

記入例②-1

事業実施計画書(通常枠・交流人口拡大枠)

代表者職氏名「会長 文化 秋子」

事業名	現代舞踊公演	団体名	現代舞踊公演実行委員会
実施場所	〇〇文化会館	事業実施期間	令和5年6月1日～11月30日
<p>①事業の趣旨 (※公演、演奏会、展覧会等事業の趣旨や目的、助成による効果等について記入してください。) 国民文化祭で実施した「現代舞踊フォーラム」を基に、舞台監督に世界公演を行うなど幅広い活躍とともに後身の育成にも力を入れている△△氏を迎え、県内外の舞踊団体が一堂に会し発表する。団体間の交流を広げ、技術の向上にも役立てる。舞踊に対する県民の関心を高める。</p>			
<p>②事業の内容 (※事業開催日時、会場、演目、曲目、舞台構成、主な出演団体(者)、主な展示作品、展示点数等について、具体的に記入してください。別紙(プログラム)添付も可。) ・開催日：令和5年10月21日(土)～22日(日)14:00～16:00 会場：〇〇文化会館 ・3部構成で、第1部は各団体による発表、第2部は団体混合のオリジナルダンス、第3部は全国で活躍する〇〇氏振付によるダンスを全員で披露する。 ・出演団体は、県内団体6、県外団体5(要綱添付。)</p>			
<p>③事業の企画について工夫したところ (※今回の事業の特徴を具体的に記入してください。) 現代舞踊のすばらしさを多くの人に伝えるため、ダンスの公演をあまり見たことのない方にも分かるように指導者による現代ダンスの解説を交えて紹介する。</p>			
<p>④出演・出品等予定者数 総数 85人(内訳：主催団体の構成員 50人 構成員以外 30人 公募 5人)</p>			
<p>⑤入場予定者数 1,000人 (※出演者や係員等は含みません。)</p>			
<p>⑥入場料徴収 (する)・しない ←※どちらかに○をし、以下の点について具体的に記入 (※入場料を徴収「する」場合→「入場券発売の方法」・「入場予定者数確保の方法」 徴収「しない」場合→「入場料を徴収しない理由」・「入場予定者数確保の方法」) ・県内各プレイガイド、インターネット、楽器店、当事務局、会員でチケット販売を行う。 ・市内、県内外での広報を次のように積極的に行うとともに会員も近隣に働きかける。</p>			
<p>⑦広報予定先と主な広報予定手段 ※事業の広報について「範囲」「手段」「期間または回数」を記入してください。 ・市内→チラシ配布(市内各楽器店、市内各公民館、9月下旬より) ・県内→新聞広告(〇〇新聞、10月1回)、テレビスポット(〇△局、10月1回) ・県内外→ホームページ掲載(7月中旬より)、クラウドファンディング</p>			
<p>⑧後援予定者等 〇〇市教育委員会、〇〇株式会社</p>			

◎事業実施計画書の記載内容は、採否に係る基本的な審査資料となります。事業の独自性や県民への波及効果等について、十分検討のうえ、記入してください。

記入例③-1

⑨収支予算積算内訳 (通常枠・交流人口拡大枠・活動応援枠)

収入の部		支出の部		
内 訳	今回予算額	内 訳	今回予算額	
入 場 料 等 収 入	入場料収入 (※単価及び枚数を明記) @1,000円×1,200枚	1,200,000	補 助 対 象 経 費	出演費 @80,000円×5人 400,000
	〇〇市補助金	50,000		演出・文芸費 謝金・振付@300,000円×1人 300,000
				舞台監督@200,000円×1人 200,000
				旅費 252,600
小 計 (イ)	1,250,000		交通費 28,100円×6人 =168,600 (※宿泊費に朝・夕食等の飲食費は含まれませ ん。)	
自 己 負 担 金	広告料収入	150,000		宿泊費 @7,000円×2泊×6人 =84,000
	クラウドファンディング	300,000		印刷費 (ポスター100枚、チラシ 1,000枚、プログラム200部、入 場券1,000枚)
	実行委員会積立金	490,440		舞台費・音響・照明委託料 780,000
小 計 (ロ)	940,440		大道具等 400,000	
文化による地域の元気創出事業費補助金 申 込 額 (ハ)	1,341,000		会場使用料 350,000	
			通信料 30,000	
収入総額 (イ) + (ロ) + (ハ)	3,531,440		小 計 (A) 3,262,600	
			補 助 対 象 外 経 費	花束代 18,000
				食糧費 (弁当代) 250,000
				振込手数料 840
			小 計 (B) 318,840	
			支出総額 (A)+(B) 3,531,440	

※補助金申込額は、補助対象経費 (A) から入場料等収入 (イ) を控除した額をもとに、通常枠は2分の1以内の額で10万円以上40万円以下、交流人口拡大枠は3分の2以内の額で100万円以上300万円以下を原則とします。(※千円未満切り捨て)

上記例：(補助対象経費 (A) 3,262,600円 - 入場料等収入 (イ) 1,250,000円) × 2 / 3 ※交流人口拡大枠
=1,341,733円 → 千円未満切り捨て → 1,341,000円

文化による地域の元気創出事業費補助金 申込額 1,341,000円

(この1,341,000円が算定上の上限です。申込額は、これと同額でも少額でも構いません。)

- ①収支予算書の金額について、できる限り単価・数量等の内訳を明記してください。不明の場合は算定根拠を求める場合があります。
- ②申請時の予算額と実績報告の決算額に変動がある場合、補助金を減額することがあります。
- ③申請時の事業内容と実績報告時の事業内容に大きな変動があり、当初の趣旨で事業実施がなされなかったと判断される場合は、交付を取り消すこともあります。

記入例④－1

※前年度に事業がない場合、「本年度予算額」欄のみ記載してください。

(「前年度予算額」「差引増減」欄への記載は、不要です。)

収 支 予 算 書 (通常枠・交流人口拡大枠・活動応援枠)

収入の部

(単位：円)

区 分	本年度 予算額	前年度 予算額	差 引 増 減		摘 要
			増	減	
入場料収入	1,200,000	600,000	600,000		
〇〇市補助金	50,000	30,000	20,000		
自己負担金					
広告料収入	150,000	0	150,000		
クラウドファンディング	300,000	0	300,000		
実行委員会積立金	490,440	1,110,000		619,560	
文化による地域の元気創 出事業費補助金申請額	1,341,000	1,180,000	160,000		
計	3,531,440	2,920,000	1,231,000	619,560	

支出の部

(単位：円)

区 分	本年度 予算額	前年度 予算額	差 引 増 減		摘 要
			増	減	
出演料	400,000	200,000	200,000		
謝金(振付)	300,000	200,000	100,000		
舞台監督料	200,000	200,000			
交通費	168,600	100,000	68,600		
宿泊費	84,000	60,000	24,000		
印刷費(ポスター100枚、 チラシ1,000枚、プ ログラム200部、チケッ ト1,000枚)	550,000	470,000	80,000		
音響・照明委託料	780,000	640,000	140,000		
大道具費	400,000	300,000	100,000		
会場使用料	350,000	300,000	50,000		
通信料	30,000	50,000		20,000	
謝金(花束)	18,000	0	18,000		
食糧費	250,000	400,000		150,000	
振込手数料	840	0	840		
計	3,531,440	2,920,000	781,440	170,000	

※同年度において、収入の合計額と支出の合計額は一致します。

記入例①-2

文化による地域の元気創出事業採択申込書

令和5年3月9日

↑
※令和5年3月9日から4月10日までの
提出する日付を記入してください。

(あて先) 秋 田 県 知 事

※法人にあつては事務所の所在地

住 所 〒010-0951

秋田市山王 4-1-2(〇〇方)

※事務局等が個人宅の場合、方書を付けてください。

団 体 名 現代舞踊公演実行委員会

代表者職・氏名 会長 文化 秋子

令和5年度において、次のとおり補助事業を採択されるよう申し込みします。

- 1 補助金の名称 文化による地域の元気創出事業費補助金
- 2 補助事業の種類 通常枠 ・ 交流人口拡大枠 ・ 活動応援枠 (いずれかを選択)
- 3 補助金の申込額 200,000 円 (注：この数字は記入例の額です。
※千円未満は切り捨てとなります。)
- 4 補助事業の実施期間 令和5年6月1日から令和5年11月30日まで

※ 公演、展示等を準備する日から実績報告書を提出する日までです。

※ 令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業が対象です。

交流人口拡大枠と活動応援枠を併用する場合、採択申込書はそれぞれの枠分作成してください。

記入例②-2

事業実施計画書（活動応援枠）

代表者職氏名「会長 文化 秋子」

事業名	現代舞踊公演	団体名	現代舞踊公演実行委員会
実施場所	—	事業実施期間	令和5年6月1日～11月30日
<p>①事業の趣旨 （※取組の趣旨や目的について記入してください。） 国民文化祭で実施した「現代舞踊フォーラム」を基に、これまで3回補助金を利用して公演を実施してきたが、補助金終了後の公演開催資金の確保が今後の課題となっている。資金獲得方法として入場料収入を増やすことや、外部から資金を調達する手段を新たに取り入れることが挙げられ、補助金終了前に段階的に取り組み、終了後は安定した入場料収入、外部資金収入を得られるようにする。</p>			
<p>②これまでの交付・活動実績と事業の内容 （※これまでの補助金交付・活動実績を踏まえ、今後活動を継続していくために行う取組について、具体的に記入してください。） 令和2年～令和4年までの計3回文化による地域の元気創出事業費補助金の交流人口拡大枠を利用して公演を行い、600～700人程の来場者があった。今回は世界的にも高い評価を得ている△△氏の招聘という話題性により、1000人以上集客と、入場料収入の増額を目指す。集客を増やすためにまずは宣伝活動に力を入れる。宣伝方法としてはチラシ・HPの他、今回からはクラウドファンディングを活用することで新たな開催費用獲得の手段とすると共に、宣伝をより広域に広げることができる。併せてHPを一新して現代舞踊の魅力を発信していき、新たな客層を呼び込めるようにする。また、チケット販売においても、インターネット販売を取り入れることで、より簡易に購入することが可能となり、入場料の増額が見込まれる。</p>			
<p>③事業の企画について工夫したところ （※今回の事業の特徴を具体的に記入してください。） 長年デザインを変えていなかった実行委員会のHPの改修を外部の業者に委託し、公演を大きく宣伝するほか、見やすい構成にして、活動風景等の写真を多く取り入れることで、現代舞踊に馴染みの無い方にも親しみを持ってもらえるようなHPに更新する。また、HPにチケット購入のページやプレイガイドのリンクを設け、公演に興味を持ってくれた人がすぐにチケットを購入できるようにする。</p>			
<p>④事業終了後の見通し （※取組後、どのような効果を見通すことができるか具体的に記入してください。） HPの更新方法を見直すことで実行委員会メンバーだれでも操作できるようにし、更新頻度を増やしていく。またインターネットによるチケット販売終了後も購入した方へ向けて次回公演を告知し、新たな舞踊人口の獲得や、来場者の増加、固定化につなげ、安定的な入場料収入に結びつける。</p>			
<p>⑤参加予定者数 構成員 50人</p>			

◎事業実施計画書の記載内容は、採否に係る基本的な審査資料となります。十分検討のうえ、記入してください。

◎活動応援枠のみ利用する場合は「事業実施計画書（活動応援枠）」を、交流人口拡大枠と活動応援枠を併用する場合は「事業実施計画書」「事業実施計画書（活動応援枠）」をそれぞれ提出してください。

記入例③－２

⑥収支予算積算内訳（通常枠・交流人口拡大枠・活動応援枠）

		団体名	現代舞踊公演実行委員会		
収入の部			支出の部		
内 訳		今回予算額	内 訳		
			今回予算額		
入 場 料 等 収 入	※活動応援枠は記載不要		補	HPリニューアル費用	500,000
			助	クラウドファンディング利用手数料 目標額 300,000 円×10%	30,000
			対	チケットインターネット販売手数料 @1,000 円×200 枚×10%	20,000
			象	クラウドファンディング宣伝チ ラシ印刷 500 枚	10,000
			経		
			費		
	小 計 (イ)	0		小 計 (A)	560,000
自 己 負 担 金	実行委員会積立金	540,000	補	クラウドファンディングリターン 品準備	30,000
			助	パソコン購入	150,000
	小 計 (ロ)	540,000	対		
			象		
			外		
			経		
	文化による地域の元気創出事業費 補助金 申 込 額 (ハ)	200,000		小 計 (B)	180,000

※補助金申込額は、補助対象経費 (A) をもとに、3分の2以内の額で20万円以下を原則とします。(※千円未満切り捨て)

上記例：補助対象経費 (A) 560,000 円×2/3=373,333 円 → 千円未満切り捨て → 373,000 円

文化による地域の元気創出事業費補助金活動応援枠 申込額 200,000円

(この200,000円が算定上の上限です。申込額は、これと同額でも少額でも構いません。)

- ①収支予算書の金額について、できる限り単価・数量等の内訳を明記してください。不明の場合は算定根拠を求める場合があります。
- ②申請時の予算額と実績報告の決算額に変動がある場合、補助金を減額することがあります。
- ③申請時の事業内容と実績報告時の事業内容に大きな変動があり、当初の趣旨で事業実施がなされなかったと判断される場合は、交付を取り消すこともあります。
- ④活動応援枠のみ利用する場合は「収支予算積算内訳（活動応援枠）」を、交流人口拡大枠と活動応援枠を併用する場合は「収支予算積算内訳（交流人口拡大枠）」「収支予算積算内訳（活動応援枠）」をそれぞれ提出してください。

◇ できる限り正確に記入してください。 ◇

記入例④－２

※前年度に事業がない場合、「本年度予算額」欄のみ記載してください。

(「前年度予算額」「差引増減」欄への記載は、不要です。)

収 支 予 算 書 (通常枠・交流人口拡大枠・活動応援枠)

収入の部

(単位：円)

区 分	本年度 予算額	前年度 予算額	差 引 増 減		摘 要
			増	減	
自己負担金	540,000				
文化による地域の元気創 出事業費補助金申請額	200,000				
計	740,000				

支出の部

(単位：円)

区 分	本年度 予算額	前年度 予算額	差 引 増 減		摘 要
			増	減	
HPリニューアル費用	500,000				
クラウドファンディング 利用手数料	30,000				
チケット販売手数料	20,000				
クラウドファンディング 宣伝チラシ印刷費	10,000				
クラウドファンディング リターン品準備	30,000				
パソコン購入	150,000				
計	740,000	0			

※同年度において、収入の合計額と支出の合計額は一致します。

※活動応援枠のみ利用する場合は「収支予算書（活動応援枠）」を、交流人口拡大枠と活動応援枠を併用する場合は「収支予算書（交流人口拡大枠）」「収支予算書（活動応援枠）」をそれぞれ提出してください。

記入例⑤

申込する月を記入



団体の概要 (令和5年3月現在)

団体名

現代舞踊公演実行委員会
 ※ 事業採択申込書と同じ

団体設立年月	令和元年4月						
組織	構成員数 ※申請時の 人数	75名 ※構成員(会員・団員)名簿を添付のこと					
	主な役職員 ※主な役職 を記入	会 長 文化 秋子 副 会 長 秋田 太郎 企画部長 木角 良子 会 計 山王 次郎					
沿革	※団体の設立年からの主な活動歴を記入してください。 令和元年4月 設立 令和2年10月20日 現代舞踊フェスティバル in 秋田開催 令和3年10月30日 現代舞踊フェスティバル in 秋田開催 令和4年10月16日 第1回現代舞踊公演開催						
	※ 定期的活動や地域・社会に貢献している活動等を記入してください。 ・毎月第2・4土曜日に公開練習をし、興味のある人の参加を促している。 ・月に一度、老人ホーム・病院等での訪問活動や、公的施設での公演を行い、交流を図っている。						
今後の活動	※ 団体としての今後の見通しや新たな取り組み等を記入してください。 ・学校訪問をして、子どもたちとの交流をする予定(令和5年7月)						
公演・展示等実績	区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		事業名	入場者数	事業名	入場者数	事業名	入場者数
	団体が自ら主催した公演・展示・大会等の事業及び入場者数	現代舞踊フェスティバル in 秋田	700人	現代舞踊フェスティバル in 秋田	700人	第1回現代舞踊公演	600人
事務担当者氏名	○○ ○○	電 話 番 号	123-456-7890		FAX 番 号	098-765-4321	
		メールアドレス	buyouakita@○○○.ne.jp				

※構成員(会員・団員)名簿、団体の規約等を添付すること。
 ※緊急におたずねすることもあります。確実に連絡がとれるよう、連絡先を2カ所にしたり、携帯電話番号やメールアドレス等を記入して下さい。

記入例⑥

*通常枠、交流人口拡大枠、活動応援枠にかかわらず、全ての申込団体が記入してください。

補助金等実績調書

団体名 現代舞踊公演実行委員会

1 文化による地域の元気創出事業費補助金及び秋田県芸術文化振興基金補助金（既存の文化芸術活動支援事業による補助金）の交付実績（※実行委員会の場合、県からの負担金を含む。）の有無について

これまでに、これらの補助金（負担金）を受けたことがありますか？

（該当する番号に○をしてください。）

① ある 2 ない

2 これまでの実績について

「1 ある」に○をした団体は、以下の該当する項目について記入をお願いします。

年 度	事 業 名	補 助 金 額
平成 20 年度		
平成 21 年度		
平成 22 年度		
平成 23 年度		
平成 24 年度		
平成 25 年度		
平成 26 年度		
平成 27 年度		
平成 28 年度		
平成 29 年度		
平成 30 年度		
令和元年度		
令和 2 年度	現代舞踊フェスティバル in 秋田	1, 100, 000
令和 3 年度	現代舞踊フェスティバル in 秋田	1, 200, 000
令和 4 年度	第 1 回現代舞踊公演	1, 180, 000

文化による地域の元気創出事業採択申込書

年 月 日

(あて先) 秋 田 県 知 事

住 所 〒

団 体 名

代表者職・氏名

年度において、次のとおり補助事業を採択されるよう申し込みします。

- 1 補助金の名称 文化による地域の元気創出事業費補助金
- 2 補助事業の種類 通常枠 ・ 交流人口拡大枠 ・ 活動応援枠 (いずれかを選択)
- 3 補助金の申込額 円
- 4 補助事業の実施期間 年 月 日 から 年 月 日まで

事業実施計画書（通常枠・交流人口拡大枠）

代表者職氏名「 _____ 」

事業名		団体名	
実施場所		事業実施期間	
①事業の趣旨			
②事業の内容			
③事業の企画について工夫したところ			
④出演・出品等予定者数			
総数 _____ 人（内訳：主催団体の構成員 _____ 人、構成員以外 _____ 人、公募 _____ 人）			
⑤入場予定者数 _____ 人			
⑥入場料徴収（する・しない）			
⑦ 広報予定先と主な広報予定手段			
⑧ 後援予定者等			

⑨ (⑥) 収支予算積算内訳 (通常枠・交流人口拡大枠・活動応援枠)

			団体名	
収入の部			支出の部	
内 訳		今回予算額	内 訳	
			今回予算額	
入 場 料 等 収 入			補 助 対 象 経 費	
				小 計 (A)
	小 計 (イ)		補 助 対 象 外 経 費	
小 計 (ロ)		小 計 (B)		
文化による地域の元気創出事業費 補助金 申 込 額 (ハ)				
収入総額 (イ) + (ロ) + (ハ)			支出総額 (A) + (B)	

補助金申込額

円 (※千円未満切り捨て)

収支予算書（通常枠・交流人口拡大枠・活動応援枠）

収入の部

(単位：円)

区 分	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	差 引 増 減		摘 要
			増	減	
計					

支出の部

(単位：円)

区 分	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	差 引 増 減		摘 要
			増	減	
計					

団体の概要 (令和5年 月現在)

団体名

団体設立年月		年		月			
組 織	構成員数	名					
	主な役職員						
沿革							
活動の様子							
今後の活動							
公 演 ・ 展 示 等 実 績	区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	団体が自ら 主催した 公演・展示 ・大会等の 事業及び入 場者数	事業名	入場者数	事業名	入場者数	事業名	入場者数
事務担当者 氏 名		電話 番号		FAX 番 号			
		メールアドレス					

※構成員（会員・団員）名簿、団体の規約等を添付すること。

※緊急におたずねすることもあります。確実に連絡がとれるよう、連絡先を2カ所にしたり、携帯電話番号やメールアドレス等を記入して下さい。

補助金等実績調書

団体名 _____

1 文化による地域の元気創出事業費補助金及び秋田県芸術文化振興基金補助金（既存の文化芸術活動支援事業による補助金）の交付実績（※実行委員会の場合、県からの負担金を含む。）の有無について

これまでに、これらの補助金（負担金）を受けたことがありますか？
（該当する番号に○をしてください。）

- 1 ある 2 ない

2 これまでの実績について

「1 ある」に○をした団体は、以下の該当する項目について記入をお願いします。

年 度	事 業 名	補 助 金 額
平成 20 年度		
平成 21 年度		
平成 22 年度		
平成 23 年度		
平成 24 年度		
平成 25 年度		
平成 26 年度		
平成 27 年度		
平成 28 年度		
平成 29 年度		
平成 30 年度		
令和元年度		
令和 2 年度		
令和 3 年度		
令和 4 年度		

この用紙は、申込書と一緒に提出してください。

文化による地域の元気創出事業 採択申込書チェックシート

団体名 _____

事業名 _____

募集案内の記入例を参照のうえ、作成した提出書類に不備等がないことを口欄にチェックを入れ、最終確認してください。

★ 提出書類について

- 団体の定款、規約・会則等を添付しましたか。
- 団体の構成員（会員・団員等）名簿を添付しましたか。

★ 助成事業採択申込書について

- 日付は、令和5年3月9日以降になっていますか。
- 団体名に記入している団体が主催者ですか。
- 補助金の申込額について、千円未満を切り捨てましたか。
- 補助金の申込額が各枠の規定範囲内になっていますか。
(通常枠:10～40万円、交流人口拡大枠:100～300万円、活動応援枠～20万円)
- 補助事業の実施期間が令和5年4月1日から令和6年3月31日までの期間内になっていますか。

★ 事業実施計画書について

- 審査委員会における審査資料になるものですが、事業の趣旨・内容等が充分理解できるものになっていますか。(記入漏れはありませんか。)

★ 収支予算積算内訳について

- 入場料等収入について、単価及び数量等の内訳を記入しましたか。金額等については充分精査しましたか。
- 補助対象経費に含まれている衣装費はレンタルするものですか。
- 補助対象経費に、事業終了後に団体に残る衣装代、文房具等の消耗品費、写真やDVD等の記録に要する経費等が含まれていませんか。
- 補助対象経費に、練習に伴う経費（指導料、旅費等）が含まれていませんか。
- 補助対象経費（宿泊費）に、朝・夕食代等の飲食費が含まれていませんか。
- 補助対象経費（リハーサルの会場費）に、リハーサル1回分以外の会場使用料等が含まれていませんか。
- 補助対象経費に、上記経費のほか、募集案内（P5～6）に掲げる補助対象外経費が含まれていませんか。
- 収入総額と支出総額は一致していますか。

★ 収支予算積書について

- 前年度も事業を実施した場合は前年度予算を記入し、本年度予算との増減額について分析し精査しましたか。収入の部と支出の部の計の額は一致していますか。

★ その他

- 交流人口拡大枠と活動応援枠を併用する場合、採択申込書、事業実施計画書、収支予算積算内訳、収支予算書はそれぞれの枠分作成していますか。
- 実績報告書には補助金出納表や領収証の写しを添付すること、実績報告に係る会計関係書類等を5年間保存することなど、事業全体のスケジュールや事務手続について理解しましたか。(募集案内P7参照)
- 控えとして、申込書の写しを取りましたか。(必ず保管してください。)